

令和7年度 保護者等からの事業所評価 集計結果（公表）

事業所：ララスマイルあおば 事業：放課後等デイサービス 公表日：令和7年11月 保護者等数：38 回収率：79%

チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動スペースが十分に確保されていますか。	25	2	0	3	本人は狭いと言っている。	子どもが成長して体も大きくなり、場面によっては狭く感じることもある。部屋の割り振りや活動人数等の工夫によって、適切な環境を整えていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適正ですか。	24	1	0	5	専門性は適正だが、配置数はなんとも言えない。もう少しいたら職員さんは楽なのでは。	ララスマイルあおばでは法令を遵守し、加配職員も配置するなど専門性を確保できるよう努めています。子どもと保護者の方が安心して利用できる体制に努めていきたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化（※1）された環境や、特性に応じた配慮が適切になされていると思いますか。	30	0	0	0	絵カードなどが貼ってあり、視覚的に理解しやすくなっている。	一人ひとりに合わせた必要な配慮（場の調整）ができるよう今後も努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境や、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	30	0	0	0	「どうしたら良いか」親身になって教えて下さり、子どもにも親にもアドバイスをしてくれてありがたかった。	おひとりおひとり課題や悩み事など様々かと思えます。それぞれに合わせた、必要な支援を提供できるよう今後も努めてまいります。
	8	「本人支援」「家族支援」「移行支援」の支援内容から必要な項目が適切に設定され、支援内容が設定されていると思いますか。	29	0	0	1		
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	0	0	1	子どもに自信がついてきていると感じている。	お子さんにとって安心がベースにあり、分かってもらえた！という信頼があることで、子ども自身の力で変化していけるものかと思っています。
	10	事業所の活動プログラム（※3）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	0	0	0	いろいろな遊びを取り入れたプログラムを組んで下さり感謝しています。	嬉しいお言葉ありがとうございます。子どもたちが楽しみ・学び・共に育んでいけるよう、今後も様々な経験ができるよう活動を考えていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	6	5	9	ララスマイルの子どもと交流する機会がある。	地域行事には積極的に参加していますが、児童クラブとの交流について子どもとその家族の意向も踏まえながら検討していきたいと思っています。

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0	
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0	相談員さん、学校とも面談させていただき勉強になった。
	14	家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	1	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所に研修会のポスターが貼ってあるのを見て申し込んだことがある。 ・研修会があったら参加してみたい。 先日はアンケートのご回答ありがとうございました。現在交流の機会を検討しています。年齢層も幅広くこういった形がいいか、引き続き検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	29	1	0	0	よく相談にのってもらっている。職員さんに子どもの成長を喜んでもらっている感じがする。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1	0	0	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1	0	0	親の立場からも共感していただき救われた。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者や兄弟同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。	7	10	5	8	保護者同士のつながりがないので、任意参加の父母の会など企画があれば参加してみたいです。
	19	相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、周知・説明され、迅速かつ適切に対応されていますか。	28	1	0	1	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	1	0	0	お迎え時や連絡帳で様子を伝えてもらっている。
	21	定期的に文書やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する評価結果等の発信されていますか。	25	1	0	4	全体に向けた、定期的な情報発信については不足していると感じていますので、皆様に適切な情報提供をしていけるようにしてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	1	0	1	

チェック項目			はい	どちら ともい えない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	23	緊急時や感染症についての対応等について、保護者に周知・説明されていますか。	30	0	0	0		
	24	事業所では、事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルが策定され、保護者に周知・説明や訓練がされていますか。	27	0	0	3		訓練の様子などについてもLINE等を通して、情報発信をしていきたいと思います。
	25	こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	1	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	3	0	1	小学校は行きしぶりがあるが、ララさんにはない。	ご利用されるお子さんと保護者の方にとって、身近で安心を感じられる場所であり続けたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	0	0	0	いつもありがとうございます。楽しく通わせていただいております。	大変うれしいお言葉ありがとうございます。職員一同その言葉を胸に、日々皆様の支えとなれるよう努めて参ります。

*この「保護者等からの事業所評価 集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和7年度 事業所による自己評価結果（公表）

事業所：ララスマイルあおば 事業：放課後等デイサービス 公表日：令和7年11月 回答数 9

チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか。	5	3	1		子どもが成長して体も大きくなり、場面によっては狭く感じることもある。部屋の割り振りや活動人数等の工夫によって、適切な環境を整えていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	5	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境や、特性に応じた環境上の配慮が適切になされているか。	2	7	0		個々に合わせた必要な配慮（場の調整）を行えるよう、支援計画の見直しの際に適切に行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	5	0		使いづらいと感じている空間については、子どもの意見も取り入れながら、環境調整を行っていく。活動と利用する子どもに合わせて環境配慮も行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	3	0	事前打ち合わせと、振り返りの時間を大切にしている。	記録の付け方など、評価の部分をより効果的に行うことを目標に、記録の見直し、適切な評価・周知が行える仕組みを整えていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6	0		現時点では第三者評価は実施を考えていないが、必要に応じて法人として検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	0	外部研修の他、定期的に内部研修を実施。振り返り研修も行い、継続した取り組みを行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	6	3	0	定期的な面談や学校との情報共有、様々な活動をととしてのアセスメントを踏まえて行っている。	より家庭や学校での本人の姿について、必要と思われる情報は積極的に取得していく。
	13	個別支援計画を作成する際には、児発管だけでなく、関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	0	「本人の願い」を中心に、なぜこの内容なのかを共通理解できるよう話し合いをしている。	

チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	7	0		十分な理解と実施に向けた、周知・確認・評価の流れを記録の付け方と共に見直しを行っていく。
	15	標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、インフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	5	0		必要な情報を取得していくためのアセスメントの取り方については工夫が必要。インフォーマルなアセスメントについて研修と実施を行う。
	16	「本人支援」「家族支援」「移行支援」の支援内容から必要な項目が適切に設定され、支援内容が設定されているか。	8	1	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	4	0		子どもからアンケートを取るなど、子どもの興味を踏まえた活動を提供できるように工夫していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	3	0		年齢が上がるにつれての個別活動の在り方について再度検討が必要。将来を見据えた活動の機会を増やしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	4	0		必要な情報と支援の評価両面で、適切な内容の記録がとれるよう、研修を実施する。
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	3	0		モニタリング時期に関わらず、子どもの状況に応じて、見直しや変更を行っていけるよう、評価方法と支援会議の日常化を徹底する。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	5	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	2	0		

チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	0	児発管だけでなく、必要に応じ他の支援者も同行している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	0	利用前に保育園や児童発達支援事業所には必ず訪問している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	1		まだ、障害福祉サービス等に移行するケースはないが、今後必要な情報を提供できるよう準備をすすめる。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	7	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	3		地域行事には積極的に参加しているが、児童クラブとの交流について子どもとその家族の意向も踏まえて、今後検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	0		
保護者への説明責任等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラムや家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7	0		必要性を感じ準備しているが、対象や方法について、有効な方法を模索している。まずは対象者を絞って、実践を積み上げていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	2	0		
	37	子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	0	子どもとの1対1での対話を大切に、日々定期的な時間を設けている。	子どもの願いについて確認する機会を今まで以上増やし、本人の意向を汲み取る工夫や自己決定支援を大切にしていく。
	38	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	0		
	40	父母の会の活動の支援や、保護者や兄弟同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	2	5	2		『35』同様に、保護者同士の交流の機会を実践していく。

チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	2	0		
	42	定期的に文書やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する評価結果等の発信されているか。	8	1	0	LINEにより、情報提供することで速やかな連絡につながっている。	活動の様子や支援に関する情報等を定期的に発信していける方法を検討・実施していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	2		地域の広報誌などに事業所の紹介をしているが、招待などは行っていない。利用する方の個人情報に配慮しながら、どういった取り組みができるか検討していく。
非常時等の対応	46	事業所では、事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルが策定され、保護者に周知・説明や訓練がされていますか。	8	1	0	訓練実施後は、様子を玄関に貼り出すなど、内容を周知している。	全体に知らせることができるよう、一斉送信などの方法も検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	0	指示に基づき、ミスが無いようダブルチェック体制をとっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	5	4	0		

令和7年度 ララスマイルあおば 事業所による自己評価総括表（公表）

保護者評価実施期間：令和7年10月6日～11月7日 対象者数：38 回答数：30 従業者評価実施期間：令和7年10月6日～10月20日 対象者数：9 回答数：9

自己総括表作成日：令和7年11月21日 公表日：令和7年11月30日

	事業所の強みだと思われること （より強化・充実を図ることが期待されること）	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多種多様な活動プログラムの提供	子どもの状況や発達段階に合わせてプログラムを起案している。年齢の異なる子ども同士で活動する機会の設定や子どもたちが自分たちで考え、話し合い活動する機会がある。	子どもの意向を聞き取り活動に取り入れる。思春期の子ども、ライフステージが変わる子どもに対しての、本人の変化に応じた活動内容の提供。
2	資質向上に向けた取り組み	外部研修の他、内部研修の機会を大切にしている。研修で学んだことを現場で活かせるよう、振り返り研修を踏まえ継続的に行うようにしている。	学ぶ機会の範囲と回数を増やしていく。他の事業所など、横のつながりで学び合える機会なども検討していく。
3	保護者との相談機会の提供	可能な限り対面で日々の様子について情報共有や相談に応じている。連絡帳や本人のチェック表等を用いて、状況把握と共通認識を持てるようにしている。連絡帳のコメントやご家族の表情など、気になることがある場合はすぐに声をかけるようにしている。	悩みや相談事がある場合は、いつでも対応できることを引き続きお伝えし、相談しやすい環境を整えていく。

	事業所の弱みだと思われること （事業所の課題や改善が必要だと思われること）	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の不足（保護者同士の交流の機会）	個々の特性や年齢が幅広く、こういった対象者でどのような形での開催が良いかを悩み開催が遅れていた。アンケートを実施することにより、希望ニーズも把握できてきたため、今後の定期開催につなげていく。	対象者を絞って、特に希望の多い内容について開催していくとともに、気軽に横のつながりを持てるような形で交流の機会を設けていく。
2	屋外での活動や地域交流の機会が少ない	行事や外出活動は長期休暇時が中心。個々の状況や発達段階に合わせて必要な機会を提供したいが、時間や体制等によって実現できていない。	早上がりの機会を活かし活動を組み立てる。個々の状況や発達段階に合わせて、少人数での必要な社会体験の機会や地域交流の活動メニューを増やす。ご利用者の希望も聞きながら、児童クラブとの交流も検討していく。